

# 年頭のご挨拶

# 年 2014

佐呂間町長 川根 章夫

## 本年も、町職員一丸となつて 全力を尽くしていきます!!

新年あけましておめでとうございます。今年も町民の皆さんと輝かしい新春を迎えることができましたことを大変喜ばしく思いますとともに、昨年は町政全般にわたり、格別のご理解と温かいご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年のわが国は、長引くデフレからの早期脱却と経済再生を図るため、安倍内閣が打ち出した「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」を一体としての政策が強力に推進されましたが、その効果は大企業・大都市だけにとどまっており、地方への波及は実感できるものはなく、未だに地方の地域経済を取り巻く環境は厳しいものがあ

ります。また、社会保障制度改革・原子力発電所再稼働とエネルギー問題・TPP問題・領土問題・国と地方自治体のあり方の問題などが課題として山積している状況の中で、7月21日の第23回参議院議員選挙において、政権与党の議席数が過半数を上回ることとなりましたので今後は、山積している国内外の重要課題に迅速に対応されることを期待しております。

こうしたなか、日本各地では多くの自然災害による被害が発生し、特に伊豆大島では、台風26号による記録的な豪雨で土石流などにより大規模な災害となり、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、一刻も早く

昨年の佐呂間町を振り返りますと、3月の暴風雪により大規模な道路交通障害が発生し、さらに8月の局地的な大雨と強風により栄・若佐地区の一部で床下浸水などの被害がありました。大規模な災害とはならず安堵いたしましたが、

町内産業の状況ですが、農業におい

ては、春先の雪解けの遅れや低温などの天候不順により作物のつきつけが遅れ、また、夏場の雨不足、その後の降雨による影響で、畑作の主要作物である麦類・ビート・その他作物の農産物全体で減収となったところです。

畜産においては、夏場の猛暑により生乳生産に影響が見受けられ、燃油、飼料などの生産資材価格が高止まりの状況が続く中ではありますが、TMRセンターの活用や酪農家の努力、固体販売が順調なこともあり、農協全体の販売額は、当初計画を上回ったところ

です。漁業においては、主力の外海ホタテ漁は歩留まりも高く価格も好調で、養殖ホタテは予想よりも低価格との結果となり、また、サケ定置網漁業は9月の時化で前年度の漁獲量と比較すると減少しましたが、全体としては当初計画を上回る結果となりました。

林業においては、森林組合の製材工場が閉鎖されたことは残念ですが、民

有林管理事業については、事業の継続が図られており安堵しているところがあります。

商業に目を向けますと、8月に函館市に本社を置くテオー小笠原グループが「イエローグローブ佐呂間店」を出店し、町内の事業所として加わったことで雇用が広がったところであります。

公共事業につきましては、厳しい国の財政状況の下、15カ月予算による事業が行われておりますが、今後これらの予算が継続されていくものかどうか

が大きな課題となるところであります。町民の皆さんにご心配をいただいておりますが、町内の医療機関体制につきましては、佐呂間厚生クリニックが1月末をもって診療を終了し、さらに3月末には民間の小田医院が閉院することが決定しております。

4月から新たに19床の町立診療所「グリンニクさるま」として、宮城県富谷町に本部を置く医療法人恵尚会運営による新規開設が決定しており、新年度からの診療開始に向け準備を進めているところであります。

今後也將来にわたって安心して暮らしていける地域医療の充実に全力で取り組みまいります。

また、町有遊休地を民間事業者

被災地域住民の皆さんが安心できる生活を取り戻せることを願っております。

明るいニュースとしては、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックが56年ぶりに東京で開催されること

し付けて、再生可能エネルギーの普及を図る太陽光発電所が旧若佐小学校跡地に昨年10月完成し、すでに1,250kw、一般家庭で約400戸分に相当する量を発電し稼働しております。

さて、新しく迎えました平成26年ですが、環太平洋連携協定(TPP)交渉が越年することになったものの、予断をゆるさない状況にあることには違いなく、地方をとりまく環境は年々厳しくなっております。これからも、地域自らの発想と創意工夫により魅力あるまちづくりを進めるため、将来のまちづくりの指針として4年目となります第4期町総合計画の「心豊かで快適なくらしを支えるまち」、「豊かな自然と人が共存する産業」、「ふれあいとやすらぎのある社会」、「こころ育む魅力ある教育」を目標に、住んでみたい、住み続けたいと思っていだけるまちづくりを目指し、最大限の努力を私ども町職員一丸となって全力を尽くしてまいります。

新しい年が最良の年となり、町民の皆さんが益々ご健勝でご活躍されますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

となり、次世代を担う子どもたちにたくさんの夢と希望を与え、回復の兆しをみせている日本経済への刺激となり、震災復興の加速へとつながっていくことを期待しています。

### 謹賀新年

#### 佐呂間町

町長 川根 章夫  
副町長 川又 則之

他職員一同

#### 町議会

議長 加賀屋 修  
副議長 佐藤 昭男

他議員・職員一同

#### 教育委員会

委員長 中道 寛雄  
教育長 香川 健一

他委員・職員一同

#### 農業委員会

会長 佐野 敏治  
委員 他委員・職員一同

#### 選挙管理委員会

委員長 内藤 学峰  
委員 他委員・職員一同

#### 監査委員

代表監査 山本 英人  
委員 船木 司

遠軽地区広域組合佐呂間消防団  
団長 五十嵐 正一

他団員・職員一同



### 日本赤十字社献血功労団体表彰 サロマ福祉会・(株)岸組が受賞



永年にわたり、献血運動に貢献している企業・団体に日本赤十字社から贈られる、献血功労表彰に社会福祉法人サロマ福祉会、(株)岸組が選ばれ、表彰されました。サロマ福祉会は5年以上、(株)岸組は10年以上の献血運動を継続され、それぞれの代表者に、12月11日、日本赤十字社支部長感謝状が手渡されました。

### 消防団発足120周年 記念切手シート寄贈



全国で最初の消防団発足から120周年となることを記念して、販売されている消防団発足120周年記念切手を佐呂間郵便局が佐呂間町消防団に寄贈しました。寄贈したのは記念切手シートを封した記念ファイルで、12月5日、南保局長から五十嵐団長に手渡されました。この切手は、枚数限定で佐呂間郵便局で販売されています。



### 永年の功績を称えて 援護事業功労者厚生大臣表彰

戦傷病者、戦没者遺族、未帰還者留守家族などの援護に関する事業に携わり、功績が顕著な方が表彰される援護事業功労者の厚生労働大臣表彰を川村勘市氏が受賞されました。

川村氏は昭和49年から(財)北海道傷痍軍人会遠軽支部役員として理事、支部長を歴任され平成23年までの37年間で活躍され、また、(財)北海道傷痍軍人会役員として理事を延べ4年間、評議員として平成6年から23年までの17年間もの長い間で尽力されました。その功績を称え、11月22日に東京都で行われた表彰式で、厚生労働大臣から表彰状が手渡されました。



### 社会貢献活動に感謝 松谷・橋本川島・豊松 特定建設工事共同企業体

社会貢献活動として、佐呂間別川の河川改修工事を行っている松谷・橋本川島・豊松特定建設工事共同企業体に浜佐呂間保育所の遊具施設周辺の老朽化した柵の撤去と砂利埋設を行っていただきました。砂利には化粧砂利を入れていただき、見た目も美しく、安全で安心して子供たちが遊べる施設となりました。大変ありがとうございました。

## 年頭のご挨拶

佐呂間町議会議長 加賀屋 修

# 年 2014

的確かつ適正な議会活動に  
全力を傾注します!!

町民の皆さまにおかれましては、ご健勝にて輝かしい平成26年の新春を迎えられ心よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国政においては、7月に実施された参議院選挙において、連立与党が過半数となり、ねじれ状態が解消となりました。

こうした中で、政府は環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉に正式参加しましたが、交渉は進展せず、基幹産業である農業・漁業などへの影響が懸念されており、今後もその動向を注視していかねばなりません。

また、景気は、緩やかに回復しつつあるとの情勢となっておりますが、消費税増税の影響を懸念し、5兆5千億円の経済対策が決定されました。

しかし、個人消費などの落ち込みも懸念されており、今後の景気動向は先行き不透明となっております。

さらに多くの飲食店において、メ

ニュー偽装問題が発覚するとともにJR北海道のレール補修箇所の放置や計測値の改ざんなど、食の安全・安心や公共交通の安全輸送に対し、多くの疑念を抱かせた年でもありました。

一方、東北楽天ゴールデンイーグルスの日本一は、東日本大震災で被災した東北地方の方々に、夢と希望と感動を与えた明るい話題でもありました。

さて本町をかえりみますと、昨年は春先の長期間の低温や日照不足、7月の干ばつ、8月の集中豪雨など天候に左右された一年でありました。

基幹産業の農業は、その天候の影響を受け主要作物の秋蒔き小麦を中心に減収となったことから、農産販売額の減少が予想されており、酪農畜産において乳価の引き上げ、肉素牛の固体販売が順調に推移したことから全体では、計画を上回る見込みとなっております。

水産業は、外海ホタテ、秋サケなどの価格に恵まれ、計画を上回る見込みとなっております。

地域経済、雇用環境は依然として厳しい状況となっておりますが、住宅建設・改修費の助成や商品券発行などの各種施策により、活性化が図られております。

いづれにしろ、厳しい社会情勢の中、全体的に概ね計画が達成されたことは喜ばしい限りであります。

さて、地方を取り巻く環境は大きく変化しつつある中で、基幹産業の活性化対策、少子高齢化社会に対応する医療・福祉政策などの充実が求められて

います。

このような状況の中で、議会としても昨年の改選により議会構成が変わりましたが、本町が自立した町として歩み続けていく上で、将来を見据えた安定的な行財政運営が可能となるように、時代の大きな変革期にあることを踏まえ、的確かつ適正な議会活動に全力を傾注し、その任を果たしてまいりたいと存じます。今後とも、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年も、町民の皆さんがご健勝で幸多い年になりますことをご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。